

夕刊 新報 行發日二十二月四 (刊休日翌日祭曜日)

山口正夫の童謡集 出版に就いて (下)

山口正夫の童謡集が、どうか大方の諸賢に讀つて愛されしむことを祈る、彼れは、現在に雅拙なる童謡詩人にすぎぬ、しかし彼の中に内在する「童心」は、必ずやこころよき詩的情緒を揺り起し、法悦せしめるであらう。御一讀をおすすめする。(静岡、清水市にて近郊一帯使用)に採用され記す)

擬昭和職人歌 小 鹿 角 夫

東國のわれは僧とぞ語へども悟りならむころうごきや 白たびの白きうがちて納まれるうへすがたも噴ふてだてなる

元禄名妓傳



益「これ房、其方は高がせう、是れは聊か餘事に過ぎます、あらねの様な涙を膝町人の娘であらう、拙者がつたが、徳川時代には其差の上にゴトリ、流して」

山口正夫の『野の雉子』は、京に於て發行を續けることになり、五月初旬、大分市より後藤橋根の上京を待ち、レコード吹込みの交渉を了し、作曲家との交渉も決定した。五月中旬、全上四郎書伯は『令女界』若國の童謡詩派が集合する『草』等に毎號執筆する童とに決した。

野の雉子(大分市大道町五丁目童仙房發行、價七十錢) 追而、『童謡詩人』は同じ童仙房から五月號を刊行、六月號より東京市芝二本坂の小生宅へ發行所を移す管である。

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

山口正夫の『野の雉子』は、京に於て發行を續けることになり、五月初旬、大分市より後藤橋根の上京を待ち、レコード吹込みの交渉を了し、作曲家との交渉も決定した。五月中旬、全上四郎書伯は『令女界』若國の童謡詩派が集合する『草』等に毎號執筆する童とに決した。

野の雉子(大分市大道町五丁目童仙房發行、價七十錢) 追而、『童謡詩人』は同じ童仙房から五月號を刊行、六月號より東京市芝二本坂の小生宅へ發行所を移す管である。

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

山口正夫の『野の雉子』は、京に於て發行を續けることになり、五月初旬、大分市より後藤橋根の上京を待ち、レコード吹込みの交渉を了し、作曲家との交渉も決定した。五月中旬、全上四郎書伯は『令女界』若國の童謡詩派が集合する『草』等に毎號執筆する童とに決した。

野の雉子(大分市大道町五丁目童仙房發行、價七十錢) 追而、『童謡詩人』は同じ童仙房から五月號を刊行、六月號より東京市芝二本坂の小生宅へ發行所を移す管である。

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

益「吾人は須く現代を超越せざるべからず。必ずしも言の繁きを要せず、人生至深の情趣は往々胸臆最後の琴線に觸るることによし解せられ得べきものあり。(桐牛全集)

小野玉枝 日用品値段 日用品値段 九、三〇〇 一〇、二〇〇 一〇、三〇〇 一〇、四〇〇 一〇、五〇〇 一〇、六〇〇 一〇、七〇〇 一〇、八〇〇 一〇、九〇〇 一〇、〇〇〇

トケイトメガネ 新學期が始まりました。是非入用のトケイメガネは何でも品が揃つて居り良い品を安く賣る當店に御用命を願います。

大谷時計病院 本院に學生は正札の一割五分引(但しセーイ景品付は一割引) 修繕は東京より博士來院無料診察仕儀

難波醫院 醫學博士 難波睦 電話五〇二番 午後七時診察(午前九時より) 但し急患は此の限りに非ず

上田醫院 病室完備 外科 内科 婦科 小児科 電話二一九

精幸堂時計店 九二路小植才町平線岸海

森下商店 教育玩具 雜貨問屋

